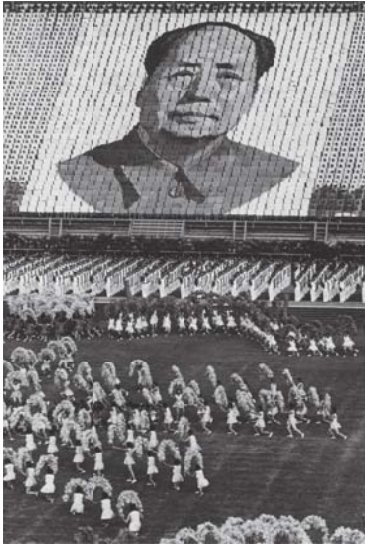


現研公開講座のご案内



体育場で演じられたマスゲーム
「革命賛歌」の毛沢東の肖像。1965年

一九六六年から十年間 中国全土を混乱に陥れた プロレタリア文化大革命

私は1992年から上海や浙江省の江南一帯の明、清時代の面影を残す古鎮を訪ねて、政治路線の変動がもたらした街のたたずまいや人々の暮らしの撮影を続けている。そのなかで民家のしっくいや煉瓦の壁、工場の建物などに赤ペンキで肉太に書かれた政治スローガンや毛沢東語録の一節が残っているのに気付いた。文革発動以来40数年、雨に打たれ、風にさらされて文字は今や汚れとしか見えないものも多いが、「毛沢東思想万歳」とはっきり読めるものもある。毛沢東の肖像の壁画が残されている農家もあった。現在、文革は完全否定され、当時の革命思想も過去の歴史のなかに埋没したかのように見える。しかし、全土で激しく展開された政治運動は残影として刻まれ、混乱と苦悩の日々のあったことを静かに物語っている。

今回の講座では、文革の前年の1965年に訪中し、毛沢東時代の社会主義中国を取材した写真なども加え、中国という国を考える。



「中国を撮る」

「文革の残影と日常の暮らし」

講師：英伸三

会場 現代写真研究所 6F 教室

日時 2015年9月30日(水) 18:30～20:30

参加費 2,000円 (JRP会員・現研生)
2,500円 (一般)

上海の街で。2005年



毛主席万歳の文字が残る上海の路地の壁。2001年



上海市郊外で行なわれた民兵の実弾射撃訓練。1965年

現代写真研究所では、写真家・研究者から直接写真の撮り方、考えを聞く公開講座を随時に開催しています。

この講座は、当所の研究生ばかりでなく、写真を愛し、写真で何かをしよう、写真の可能性を探ろうと考えている人のための講座です。ぜひご参加下さい。

銀座ニコンサロンで開催
英伸三写真展「文革の残影」
(カラー60点)
9月23日(水)～10月6日(火)
AM10:30～PM6:30



【お申込・お問い合わせ】

現代写真研究所事務局
東京メトロ四谷三丁目徒歩1分/都営新宿線曙橋徒歩7分
03-3359-7611 (TEL) 03-3355-1462 (Fax)
jimukyoku@genken.ac

<http://www.genken.ac>